

要望事項 (優先順位 1)

災害時の防災(無線)放送設備の設置

要旨

災害時(災害後)の八瀬地域の場合、地形が複雑であり、町内によって山崩れや倒木、河川の氾濫等があり、一括りに小学校への避難指示は危険な場合もあります。各地域に合った避難情報・避難する必要のない地域もあり、正確な災害情報を伝えるため、スピーカーや災害無線ラジオによる放送設備を要望いたします。

大雨災害時等確かに音声は、消防分団の広報でも移動しながらの広報となり聞き取れない場合もあります。定位置での広報であれば改善され则认为ます。一軒一軒声をかけていけば、大雨等の後の声掛けは、声をかけてまわる人にも、土砂災害の危険が生じます。再再度是非一考お願いいたします。

回答**(行財政局)**

本市では、市民の皆様が日頃から、御自宅のある場所の災害へのリスク、避難の必要性、指定緊急避難場所等について確認し、いざという時に備えていただけるよう、災害ハザードマップや避難行動判定フロー(チラシ)等を作成しています。

また、災害等の発生が迫る場合には、本市から、緊急速報メール、防災・防犯メール、京都市防災ポータルサイト、テレビのデータ放送など様々な媒体を活用して情報をお伝えしているほか、電話の自動音声応答により最新の避難情報を入手できる案内サービスや、浸水想定区域・土砂災害警戒区域等にお住まいで携帯電話をお持ちでない避難行動要支援者の方を対象として、固定電話又はFAXによる避難情報等の配信サービス(事前登録制)も行っています。

一括りでない各地域に合った避難情報の提供については、一刻を争う限られた時間の中で、町内ごとの災害状況の把握・分析し、個別に避難情報を出すことは、技術的に困難です。

また、御要望の放送設備については、御記載のとおり、大雨等の際にはスピーカーの音声聞き取りづらくなりますが、これは定位置での広報であっても同様の限界があると考えます。

緊急情報の伝達には、より普及度が高く、確実性の高い携帯電話への緊急速報メールや、テレビのデータ放送、京都市防災ポータルサイトなどを御活用いただきたいと考えております。